

編集後記

です。

れませんか。

■：丸1年間、さまざまな統計数字が発表されましたが、2010年は不況と言われ、あまり良いデータにお目にかかれませんでした。ところが、年末12月に発表された財務省の法人企業統計では、全産業の設備投資が前年同期比で5・0%も増えたそう。3年半ぶりの上昇とか。落ち込み続けた企業による設備投資がようやく下げ止まり。工場の設備や機械類が新しく、優秀な機能を持つものになる。これはモノづくりで最も大切なこと。金融や保険業を除いた伸びですから将来性も万全。

■：あの一時落ち込んだ米国GM（ゼネラル・モーターズ）が昨年末販売台数でトップに躍り出て来ました。2位はフォード・モーター、3位が日本のトヨタの順。自動車はモノづくりの典型的な存在で、米国人たちもホットと胸をなでおろしたことでしよう。ホンダ、日産自動車、富士重工業もそれぞれ順調に伸ばしています。さまざまな分野で発展途上国が追いかけて来る時代。造船はあきらめても自動車だけは、といった思い入れは依然として持ちたいもの

■：一方、政界の「劣化現象」は鳩山前政権―菅現政権と益々悪い形で続きそう。ただ日本では、一部の政治・選挙マニアは別として一般市民は政治がどっち向いていようと余り気にかけない。相当教養のある人でも政治に無関心で、選挙の時だけ投票所に足を運ぶ。いわば政治は「プロの政治家にお任せ」ということ。それにしても地方レベルですが鹿児島県阿久根市長だった男はひどいので、議会は召集しないは、予算や条例など専決処分を繰り返したといえます。まるで独裁者並み。再選されないよう見届けたいもの。

■：カネの集まるところには集まるもので。09年度の政治資金収支報告書によるとトップが民主党の小沢某で9億783万円、2位の自民党・中川某の3億2054万円と大きな開き。前首相の鳩山某は16位でしたが、それでも国会議員の平均が5000万円弱でしたから、よくも集めたものです。議員という役割にしてみつく、少々コケにされても守ろうとする、その理由が分かっていうもの。カネ、カネ、カネの政治が政治離れの風潮を作っているのかも知

■：面白い話題は、ノーベル化学賞受賞のお2人根岸さんと鈴木さん。75歳と80歳の高齢者ですが、スウェーデン・ストックホルムでの受賞式でも笑顔を抑えずお元気を姿を見せていました。若者たちの憧れの的といっているでしょう。周囲に年寄りが増えてますが、お2人のような酒脱な立ち居振る舞いはテレビで見ても人を魅了しますね。いわゆる好々爺とでもいうのでしょうか。それにしても、中国政府の、劉曉波氏の平和賞受賞にたいする対応には世界じゅうからひんしゆくを買っています。

■：日本女性の平均寿命は86歳で世界一の長命。男は79歳とかで4位か5位。徒（いたず）らに馬酔を重ねるのを良としない、なんて心意気とした時代もありましたが、これは一種のヤセ我慢。もっとも最近の「健康ブーム」は一寸度が過ぎてきたような気がします。『ピンピン・ポツクリ』の見出しを読んでも、いかにポツクリ死ぬるかを教えてくれない。安楽死を求める野郎どもが多勢いることを知らないよう。安らかに眠りたい願望は誰れにもあるはず。

月刊公論 MONTHLY
KORON

2月号 第44巻2号

平成23年2月1日発行 毎月15日発売
定価890円(本体848円) 送料92円

発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦
発行所 株式会社財界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616
印刷所 株式会社廣済堂
取次店 トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。